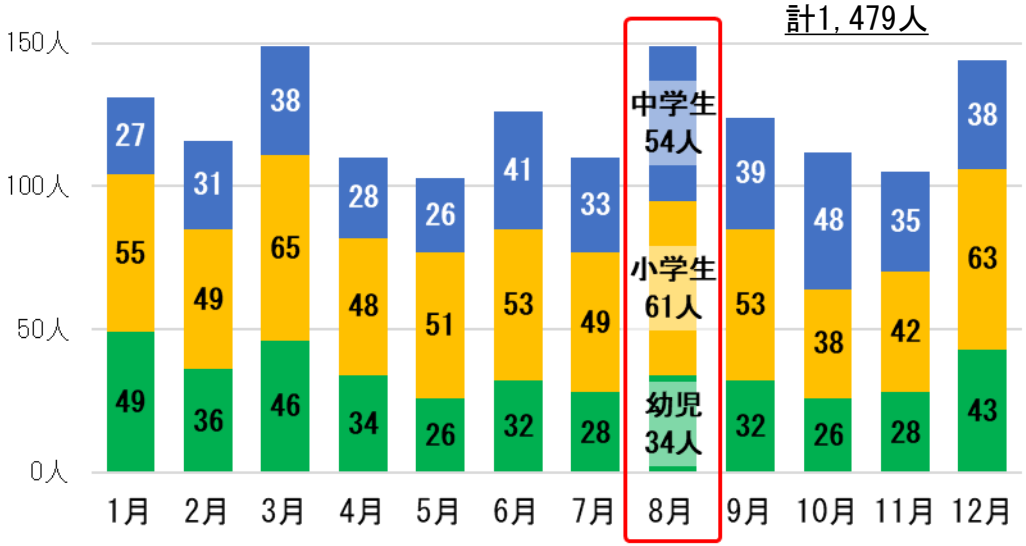
夏休みのこども（中学生以下）の交通事故被害

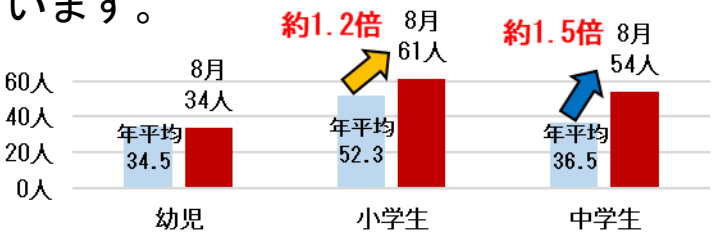
～ 過去５年間（H30～R4）の人身交通事故から ～

≪ 月別・学齢別被害状況≫

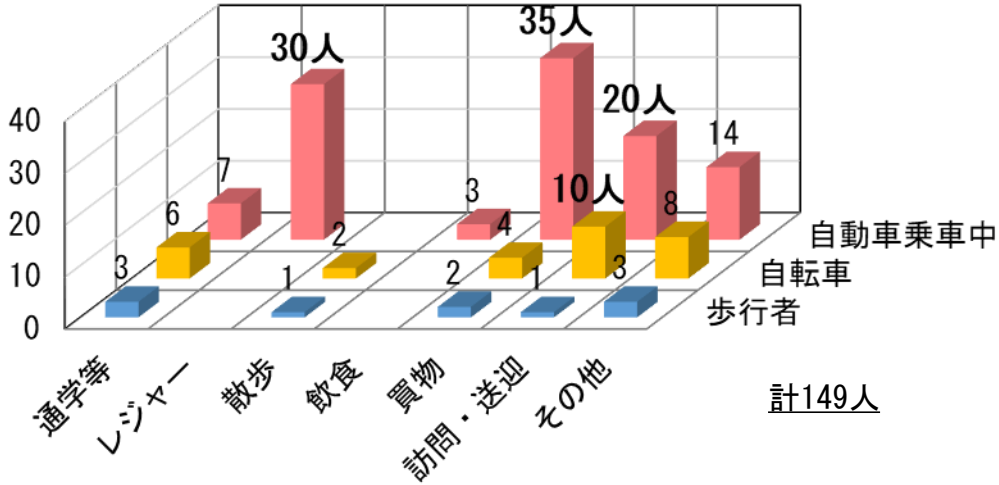


８月は年間で最多月!!

８月はこどもが被害となる交通事故が年間で最も多く（３月と同数）、特に中学生の被害は年平均の約1.5倍、小学生は約1.2倍の発生となっています。



≪ ８月中における
当事者・通行目的別被害状況 ≫

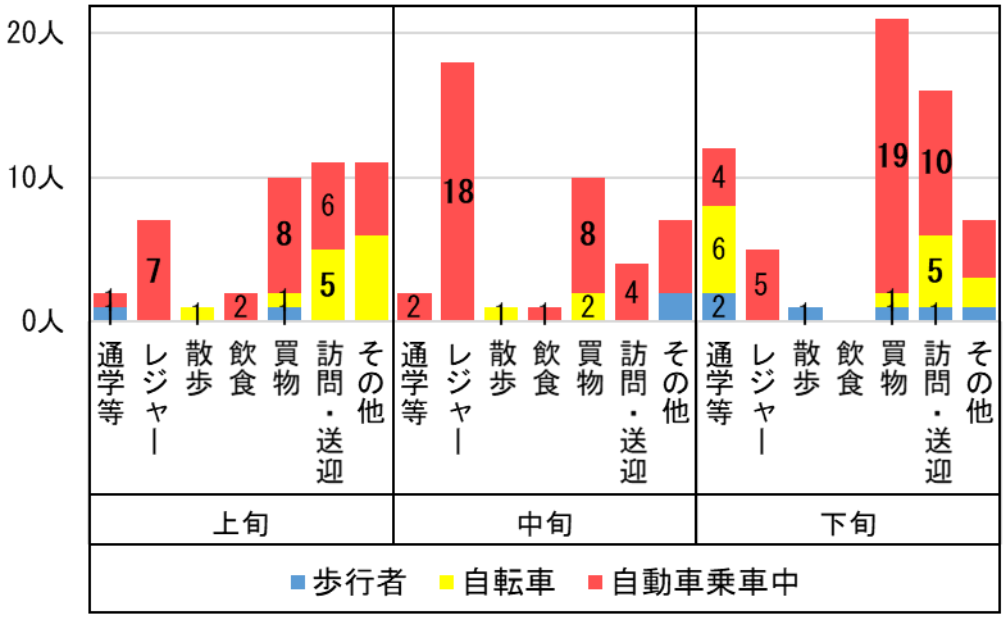


レジャー・買物
自動車乗車中 **被害が多い**

８月は夏休みということもあり、レジャーや買物で自動車乗車中の被害が多く発生しています。

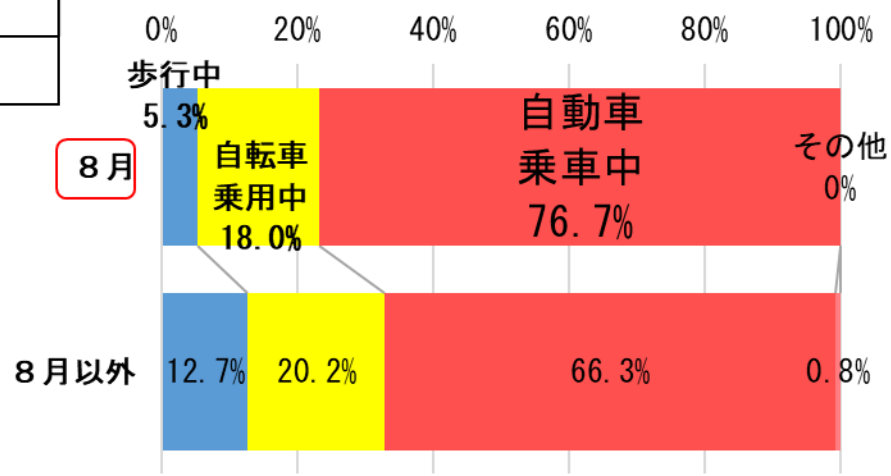
また、自転車乗車中の被害では友人宅などへの訪問時に事故が多く発生しています。

≪ ８月中の旬・通行目的別被害状況 ≫

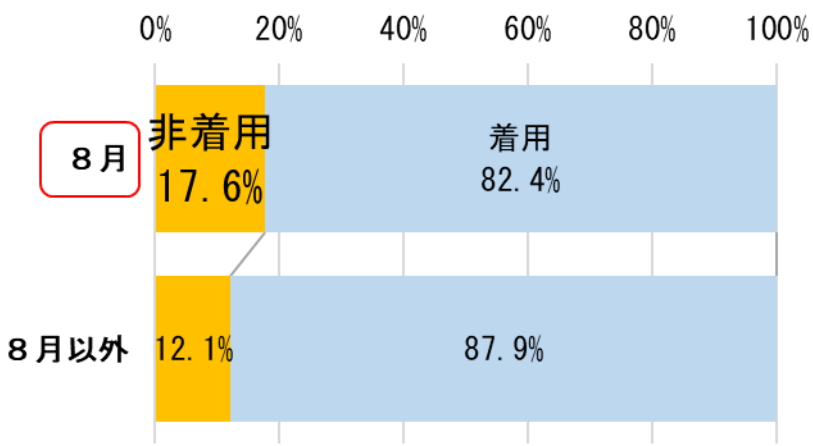


８月中旬はレジャーでの自動車乗車中被害が多く、下旬は買物や訪問での自動車乗車中被害が多い。
自転車乗用中の被害は上旬・下旬に友人宅などへの訪問が多い。

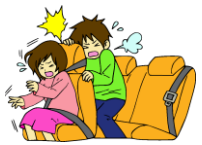
≪ 私用中の事故の被害時の状態別≫



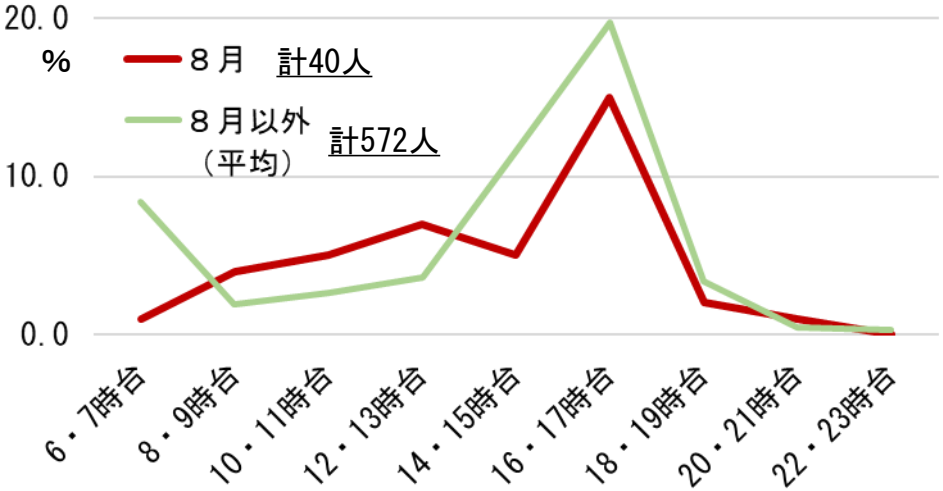
≪ 自動車乗車中被害者のシートベルト着用状況 ≫



通行目的が私用中の事故のうち、自動車乗車中の被害割合が８月は高く、その２割近くがシートベルト非着用者です。



≪ 歩行中・自転車乗用中の時間帯別被害 ≫



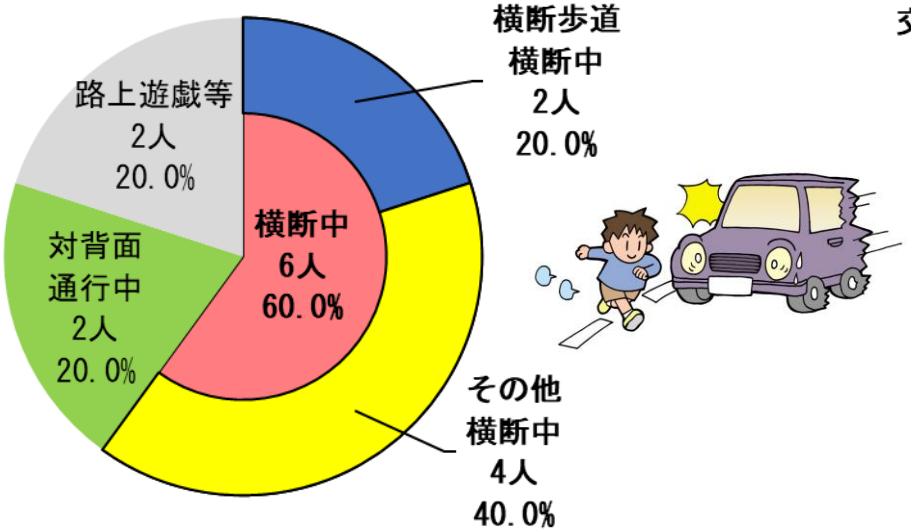
歩行者、自転車の事故発生時間帯を見ると、年間を通じて16・17時台が多いが、夏休みシーズンは一定の時間帯だけでなく、他の時間帯も発生が多くなっています。

また、歩行者は道路横断中の事故が全歩行者被害の６割を占め、横断歩道での事故も発生しています。

自転車は交差点での事故が９割近くを占め、特に信号機の無い交差点での事故が多く発生しています。

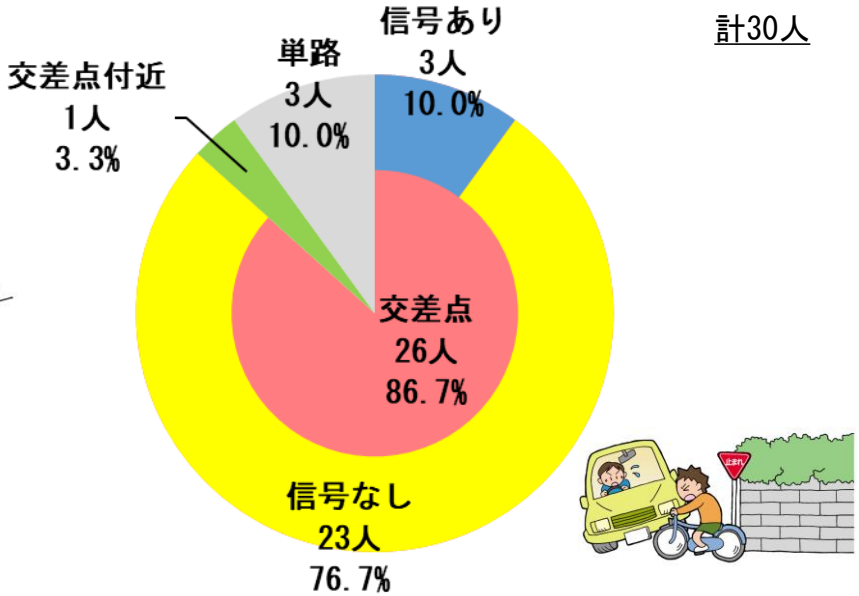
≪ ８月中の歩行中被害 ≫

計10人



≪ ８月中の自転車乗用中被害 ≫

計30人



児童・生徒の皆さんへ

歩行者の皆さんへ

・道路を横断する際は、一旦立ち止まり、左右の安全を確認しましょう。
・手をあげて（**ハンドサイン**）、運転者の目を見て（**アイコンタクト**）確認するなど、運転者に対して横断する意思を伝えましょう。
・車が確実に止まったことを確認してから横断を開始しましょう。
・信号機のある場所では、信号に従って横断しましょう。
　信号機が青色にかわってもすぐに横断せず、一回止まって車が来ていないか確認し、右左折の車にも気を付けて横断を開始しましょう。
・早朝や夕暮れ時・夜間は反射材を着用しましょう。

自転車の皆さんへ

・信号に従って通行しましょう。
・一時停止場所では、必ず一時停止をして確実に安全確認をしましょう。
・見通しの悪い交差点では、スピードを落とし、安全を十分に確かめて通行しましょう。
・道路を横断する際は左右・後方の安全を確認して横断しましょう。
・自転車を利用する際は被害軽減のため、自転車乗車用ヘルメットを着用しましょう。

ドライバーの皆さんへ

・夏休みの時期は、交通環境が大きく変化します。あらゆる時間帯に、こどもとの事故リスクがあることを認識して下さい。
・横断歩道に近づいたら、速度を落とし、歩行者の有無を確認し、歩行者・自転車がいる場合は、手前で停止して下さい。
・住宅街等の生活道路は、特に注意して運転して下さい。
・相手が「出てこないだろう」「止まるだろう」は危険です。
「出てくるかもしれない」などの「かもしない運転」を心がけ、安全運転をお願いします。